

◆【全国発信記事】北海道地方支部

船乗り人生の宝物

外航船で世界中を巡り、スーベニアスプーンを収集

北海道苫小牧市に在住の榎戸克美さん（75歳）は、元船乗りで、外航船の日正汽船で働いた後、内航船の栗林商船で航海士として活躍、40年の船員キャリアを持つ元組合員。

昭和21年12月、横浜市に生まれ、幼い頃より、港に出入港する外航船を見ながら育ち、昭和46年に海技大学校卒業後、外航船の航海士として船乗り人生をスタートした。

航海士を夢見たのは、生まれ育った横浜市の風土が大きかった。「近所の大きな家に住んでいる人が船乗りと聞いて、単純にお金持ちになりたいと憧れた」と振り返る。

スーベニアスプーンとの出会いは、乗船した外航船の船長が、スーベニアスプーンのコレクションを見せてくれたのがきっかけで、ニューカレドニアにニッケル鉱を積みに行った折、高級みやげ店で目に留まり、思わず「これだ！」と両替したばかりのニューカレドニア・フランで買い求めたのがスプーン収集の始まりという。

船で世界中を巡り収集したスーベニアスプーンのコレクションは140本におよび、その希少価値から、苫小牧市の中央図書館で展示会を開催することもできた。

榎戸さんにとってのスプーン収集は、一つ一つが自分の人生の小さな航海記であり、コレクションを手にした時、当時の乗船していた船や同僚の名前を思い出すという。

コレクションに由来する昔話に花を咲かせながら榎戸さんは「若い船乗り、また、これから船乗りを目指す若い人たちには、多くのことに挑戦し、何事にも前向きに人生を謳歌してもらいたい」と語った。

「海員だより」

ー広報室よりー <各船の海員だよりメール版の送信状態を確認します>

洋上で安全運航・安全操業の努めている組合員の皆さま、お疲れ様です。海員だよりメール版を受信していただき、ありがとうございます。

海員だよりメール版は、海員組合本部の広報室メールアドレス（kaiin@jsu.or.jp）から送信しています。

正常に届いていることを確認するために、各船へお届けしたメール便りに返信していただく作業をお願いしています。

お手数ですが、毎月1度、受信メールに返信をお願いします。

※毎月、1日から月末までの間に1度、送信されました海員だよりに「返信」していただければ、船舶のメールアドレスの変更の有無などを確認できますので、よろしくお願いいたします。